令和８年度 第２回 鶴見支援学校 学校運営協議会 開催結果

１ 開催日時

令和８年10月15日(木)9時45分～11時45分

２ 開催会場

鶴見支援学校 岸根分教室

３ 参加者

委員８名

４ 会議資料

1. 令和8年度 鶴見支援学校 第2回 学校運営協議会 開催要項
2. 学校目標(中間評価)
3. 補足説明資料(パワーポイント資料)

---

５ 会議の流れ

1. 学校長挨拶
2. 岸根分教室生徒による学校紹介・校内実習見学
3. 学校評価部会
4. 意見交換
5. 学校安全部会・地域協働部会
6. 部会報告
7. 会長挨拶
8. 学校長愛
9. 事務連絡

---

６ 学校長挨拶

本日はお忙しい中、第２回学校運営協議会にご参加いただき、ありがとうございます。

今回は岸根分教室で開催することで、分教室の生徒の学校生活や学習の様子を直接見ていただく機会としました。生徒による学校紹介や作業学習の様子を通して、岸根分教室の教育活動について理解を深めていただければと思います。

また、本日は学校目標の中間評価について説明するとともに、学校運営や教育活動について委員の皆様から率直なご意見をいただきたいと考えております。いただいたご意見を今後の学校運営の改善につなげてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

7　学校評価部会

副校長による学校目標中間評価の説明

（1）教育課程・授業づくり

年間指導計画や教育内容一覧の見直しを行い、各教科・各学年の目標を明確化しながら計画的な指導を進めている。また、アセスメントを活用した授業づくりや指導改善を進めるとともに、キャリア・パスポートを活用した目標設定と振り返りにより、児童生徒の主体性や意欲の向上を図っている。今後は成果を検証しながら授業及び評価の充実を進めていく。

（2）児童生徒支援

アセスメント結果を個別の教育計画や支援に活用するとともに、心理職との連携による情報共有や評価の充実を図り、授業や実習の改善につなげている。また、相談体制の周知や支援シートの活用が進み、専門職と連携した教材開発も進めている。今後も関係機関との連携を深め、効果的な支援を進めていく。

（3）進路指導・支援

卒業後の生活を支える相談支援体制について理解を深めるため、保護者向け進路学習会を実施予定である。当日の内容は映像として保存し、参加できなかった保護者も視聴できるようにすることで、進路支援の充実を図る。今後も家庭や関係機関との連携を深め、一貫した進路支援を推進していく。

（4）地域との協働

教材・教具に関する情報をホームページで発信するとともに、小中学校の支援事例の収集を進めている。また、ボランティアとの連携強化に向けた意見交換の機会を計画している。さらに、居住地交流や作品展への出展を通じて地域とのつながりを深めている。今後も地域との連携・協働を進めていく。

(5)学校管理・学校運営

防災教育の充実を図るとともに、日課表の見直しや ICT 活用による業務改善を進めている。また、学校運営協議会でいただいた意見を県教育委員会へ伝え、学校運営に反映している。スクールバス誘導員ボランティアの募集についても検討を進めている。さらに、学校運営協議会の意見を受けて関係機関へ働きかけた結果、学校前の信号機表示が「鶴見養護学校」から「鶴見支援学校」へ変更された。

8　意見交換

(1)スクールバス誘導員について

委員から、昨年度から話題となっていたスクールバス誘導員の活用状況について質問があった。

副校長より、学校運営協議会でいただいた意見を受けて県教育委員会へ申し出した結果、年度途中の予算措置は難しいものの、学校としてボランティアを募集することは可能との回答を得たことが報告された。現在、募集チラシの作成を進めているとの説明があった。

会長からは、「学校運営協議会で出された意見が実際の取組につながっていることを大変うれしく思う」との発言があった。

委員から、「制度はすぐには変わらないが、このような取組の積み重ねが改善につながる。機会があれば現場の実情を伝えていきたい」との意見があった。

学校長からは、「まず本校で実践し、それが県全体へ広がっていけばよい」との考えが示された。

---

(2)信号機表示の変更について

副校長より、委員からの意見を受けて地域関係機関へ働きかけた結果、学校前の信号機表示が「鶴見養護学校」から「鶴見支援学校」へ変更されたことが報告された。

学校運営協議会からの意見が具体的な改善につながった事例として共有され、運営協議会の重要性や意義が確認された。

（3）修学旅行の見直しについて

委員から、修学旅行実施時期の見直しについて質問があった。

総括教諭より、岸根分教室では高等部 2 年生での修学旅行実施を目指して検討を進めていることが説明された。また、副校長からは宿泊施設の確保等の課題もあり、カリキュラム検討委員会で議論を重ねながら進めているとの説明があった。

（4）業務改善について

委員から、業務改善の取組について成果が見える形で共有されると分かりやすいとの意見があった。

副校長からは、「課題解決プロジェクト」を設置し、日課表の見直しや日直業務の廃止などの改善を進めていることが説明された。

総括教諭からは、「学校が変わり始めたと教職員自身が実感できることが成果であり、その先に子どもたちの学びの充実がある」との説明があった。

（5）防災について

委員から、近年の大雨や台風を踏まえ、全校での宿泊対応や備蓄などについて、より具体的な想定が必要ではないかとの意見があった。

学校長からは、大雨対応を通して課題を感じており、近隣自治体や他校の状況も確認しながら、従来の基準の見直しが必要であるとの認識が示された。

委員から、各校で状況が異なるため判断は難しいが、近隣校のマニュアルも参考にしながら防災体制を見直していくことが重要との意見があった。

---

(6)岸根分教室の教育活動について

委員から、「分教室の見学は非常に新鮮であり、生徒の学校紹介や挨拶も大変素晴らしかった。事業所でも参考にしたい」との感想が述べられた。

また、複数の委員から、生徒が自分たちの言葉で学校紹介や案内を行う姿が印象的であり、岸根分教室の取組をより広く発信していくことが大切であるとの意見が出された。

委員から、 実際に 2 年前には、岸根高校と岸根分教室の教職員が協力しながら継続してきた交流活動が評価され教育委員会表彰を受賞している。現在も、その表彰を示す楯が岸根高校の校内に飾られている。こうした実績についても、多くの方に知っていただき、評価に加えてもらえるとよい、との意見が述べられた。

---

9 部会報告

(1)学校安全部会

学校安全部会では、防災教育及び災害時対応について協議を行った。

まず、地域防災訓練への参加状況について報告があり、実際に地域と連携して防災活動を行うことにより、災害時における学校と地域との協力体制を確認する貴重な機会となったことが共有された。

また、本校が補助的避難所としての役割を担っていることを踏まえ、防災倉庫の備蓄品やマンホールトイレ等の設備について確認を行った。委員からは、災害発生時に備蓄品を有効に活用するためには、保管場所や使用方法について教職員全体で共通理解を図ることが重要であるとの意見が出された。

さらに、近年の自然災害の激甚化を踏まえ、学校内だけでなく、登下校中や校外学習時に災害が発生した場合の対応についても検討が必要であることが話題となった。そのため、防災マニュアルの見直しや、様々な場面を想定した訓練を実施していく必要性が確認された。

加えて、DIG（災害図上訓練）やシェイクアウト訓練などを活用し、教職員一人ひとりの防災意識を高めることが重要であるとの意見が出された。防災教育については、児童生徒への指導だけでなく、教職員自身が主体的に学び続けることが大切であることを共有した。

最後に、学校・家庭・地域が連携しながら安全な教育環境を整えていくことの重要性について確認し、今後も継続して協議を行うこととした。

（2）地域協働部会

地域協働部会では、学校と地域、保護者及び関係機関との連携の充実について協議を行った。

今年度の取組として、学校運営協議会委員が学校教育活動に具体的に関わる機会を増やしていくことが確認された。委員からは、学校の取組を支援するだけでなく、地域の人材や資源を活用しながら、児童生徒の学びをより豊かなものにしていくことが大切であるとの意見が出された。

また、昨年度に引き続き進路学習会を実施する予定であることが報告された。進学や卒業後の生活に対する保護者の関心は高く、実際の福祉サービスや相談支援体制について知る機会として有意義であることが確認された。

さらに、地域の相談窓口であるケアプラザについて保護者の理解を深めるため、PTA との共催による講演会の開催を検討していることが報告された。ケアプラザが地域生活を支える身近な相談機関であることを知ることで、保護者が安心して地域資源を活用できるようになることが期待されるとの意見が出された。

委員からは、「学校だけで児童生徒を支えるのではなく、地域全体で子どもたちの成長を支えていく視点が重要である」「卒業後も地域とのつながりを持ち続けられるような仕組みづくりが必要である」といった意見が出された。

今後も学校・保護者・地域・関係機関をつなぐ役割を大切にしながら、地域との協働による教育活動の充実を図っていくことを確認した。

11　会長まとめ

生徒が自分たちの言葉で学校紹介や案内を行う姿に感動したこと、本日の協議の中で出された意見や提案が具体的な活動につながってきていることへの評価が述べられた。

また、人と人とのつながりによって様々な取組が実現していることから、今後も学校運営協議会を通じた連携を大切にしてほしいとの話があった。さらに、岸根高校と分教室の交流実践は大変価値があり、積極的に発信していく必要があるとの意見が示された。

12　学校長挨拶

本日はお忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。

また、それぞれのお立場から多くの貴重で具体的なご意見をいただき、感謝申し上げます。

いただいたご意見は、私たちだけで共有するのではなく、学校全体で共有することが重要だと考えています。今後、職員へも伝えながら、学校として前向きに取り組みを進めていきたいと思います。

今日からすぐに実践することは難しい部分もありますが、気持ちとしては今日から取り組むつもりで、できることから進めていきたいと思っています。

また、今回岸根分教室で会議を開催したことで、皆様にはご足労をおかけしましたが、生徒たちの姿を直接見ていただくことができました。生徒たちは緊張しながらも、自分たちの学校や分教室について、自分たちの言葉でしっかりと説明してくれました。

そのような機会を与えていただいたことに心より感謝申し上げます。

これからも鶴見支援学校と岸根分教室の応援団として、子どもたちや私たち教職員を見守っていただければ幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。

本日はありがとうございました。

13　事務連絡

次回、第 3 回学校運営協議会は 2 月 26 日(金)に本校で開催予定である。今回の会議録とともに、参加伺い文書を送付することが確認された。